

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	1-1	政策名	農林業の振興	政策の 目指す姿	農林業者が安定した所得を 確保しています	施策 主管課	農村林務課	施策主管 課長名	藤井 正昭
	施策No.	5	施策名	森林の保全	施策の 目指す姿	森林が健全に育っています	関係課名			
	現状と課題	<p>・本市総面積の約66%を占める豊かな森林は、森林所有者の高齢化や後継者不足により、手入れの行き届かない森林が増えています。</p> <p>・森林には木材生産のほか防災・環境・景観などでの様々な役割がありますが、植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合は1割に満たない(市民アンケート)状況です。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1)森林保全の推進</p> <p>○森林病虫害の予防、駆除</p> <p>・被害拡大防止する区域を定めて伐倒(焼却)駆除を行ったほか、公園、景勝地、個人等の赤松を松くい虫から予防するため薬剤の樹幹注入に助成を行った。</p> <p>また、交通や電話・電気等の市民生活に支障を与える恐れのある被害木の対応を行った。</p> <p>○樹種の転換促進</p> <p>・松くい虫の被害林はもとより、健全な赤松林についても樹種の転換について周知した。</p> <p>(2)森林の多面的機能への意識啓発</p> <p>○水源涵養、地球温暖化対策等森林の有する多面的機能の啓発活動</p> <p>・「豊沢川の森市民植樹会」(主催:豊沢土地改良区)に協賛し、水源地確保の理解を高めるとともに、はなまき産業大博覧会等において森林・林業に関心を高めるイベントを開催した。</p>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合	市民が森林を保護する活動を実際に行っているか示す指標	出典:市民アンケート(新規) あなたは、この1年間に、次のような自然環境を守る行動をおこなったことがありますか? 「樹木の植樹などの森林保護活動」を選んだ人の割合 アンケート返送者のうち、上記を選んだ人の割合 H25 61人/1,271人	%	目標値				6.0	6.5	7.0
				実績値	-	5.2	4.8			
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<p>・評価の市民アンケートは、「植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合」と定義していることから、回答者総数1,271人うち61人(4.8%)の回答ではおおむね達成できたと判断できる。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	森林保全啓発事業	農村林務課	A	森林の持つ水源涵養、多面的効果の理解度温暖化防止の啓発に効果があった。
	森林が水源林として保全すべきことの理解を高めるため観察事業やイベントの開催(水源地観察1回、はなまき産業大博覧会3日間、木工体験1回)			
2	森林環境保全事業	農村林務課	B	松くい虫被害対策の必要な地域・箇所を重点的に防除するとともに、ライフラインに影響ある被害木の処理を行った。
	森林保全のため、松くい虫被害拡大防止と森林資源の適正な維持管理(駆除伐倒5,584m ³ 、樹幹注入400本、私有林巡視活動240回)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・森林環境保全事業・・・県が定める被害区分にかかる大迫地域は、先端地域として従前どおり対策が講じられるが、大迫を除く地域は高被害地域に変更となり駆除予算の配分が少なくなる。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

・自伐型林業の取り組みとして「県民参加の森林づくり事業」や「森林・山村の多面的機能発揮交付金」事業。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・市民自らが木材や山林に触れ親しみ、森林の持つ多様性に関心をもつイベントの企画が求められている。

(今後の方向性)

・水源地視察や木工教室に参加した住民は「また機会があれば参加したい」という意見が多く、市民が自ら取り組む「森林体験事業やシンポジウム」等に支援することを検討する。